

能勢町在宅介護実態調査
報告書(案)

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和5(2023)年8月

能勢町

目 次

1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要	1
3. 報告書作成にあたって.....	1
4. 調査結果	2
回答者の属性.....	2
回答した人.....	2
回答者の要介護度	2
回答者の年齢	2
回答者の性別	3
A票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目.....	3
問1 世帯類型について、ご回答ください	4
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか	5
問3 主な介護者の方は、どなたですか	6
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。.....	7
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください.....	8
問6 主な介護者の方が行っている現在の介護等について、ご回答ください.....	8
問7 ご家族や親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか..	10
問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください	10
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください	11
問10 現在、施設等への入所・入居を検討しているかについて、ご回答ください	12
問11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください	13
問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか.....	14
問13 現在、介護保険サービスを利用していますか.....	15
問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか.....	16
B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目	18
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください.....	18
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。.....	19
問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか.....	21
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	22
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください	23

1. 調査の目的

能勢町在宅介護実態調査は、能勢町第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にむけて、在宅介護サービスを利用する要支援・要介護認定者を対象に、在宅介護の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施しました。

2. 調査概要

調査期間	令和5年4月1日から4月28日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査対象者	介護保険要支援・要介護認定者(介護保険施設入所者、及び、介護保険サービス利用実績のない者を除く)
調査対象者数	687
有効回答数	399
有効回答率	58.1%

3. 報告書作成にあたって

- ① 経年変化は、第7期～第9期までの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための在宅介護実態調査の比較を行いました。
ただし、第7期、第8期の調査対象者は要介護認定者、第9期の調査対象者は要支援・要介護認定者と異なるため、第9期は要介護認定者の集計結果を用いて、比較検討しました。
- ② 要介護別のクロス集計は「要支援1～2」「要介護1～2」「要介護3～5」の区分で集計分析を行いました。
- ③ わかりやすい報告書にするため、本文はグラフ表示による説明を行い、集計表は巻末に掲載するようにしました。
- ④ 割合(%)は端数処理(小数点第2位で四捨五入)を行っているため、合計が100%にならない場合があります。

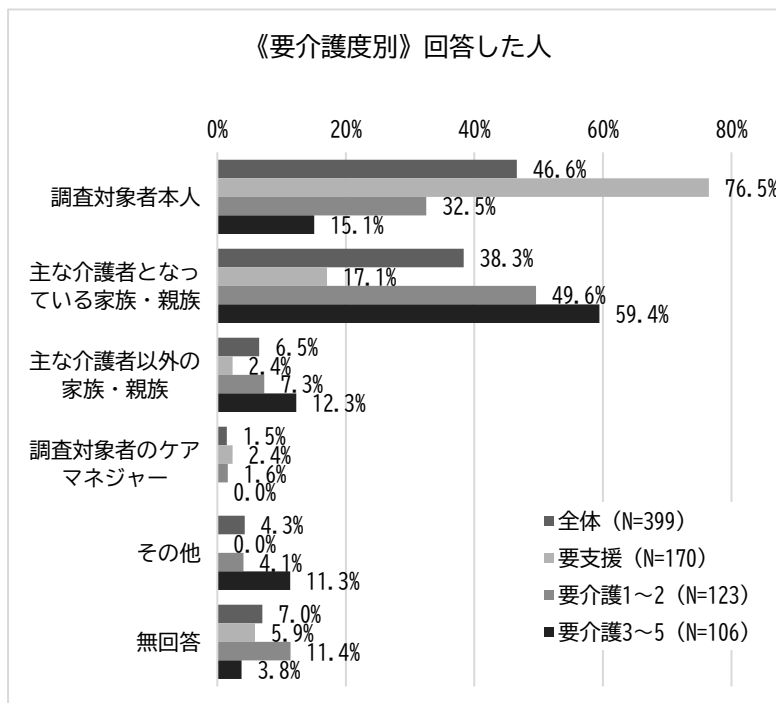
4. 調査結果

回答者の属性

回答した人

「回答した人」は「全体」では「調査対象者本人」が46.6%、「主な介護者となっている家族・親族」が38.3%となっています。

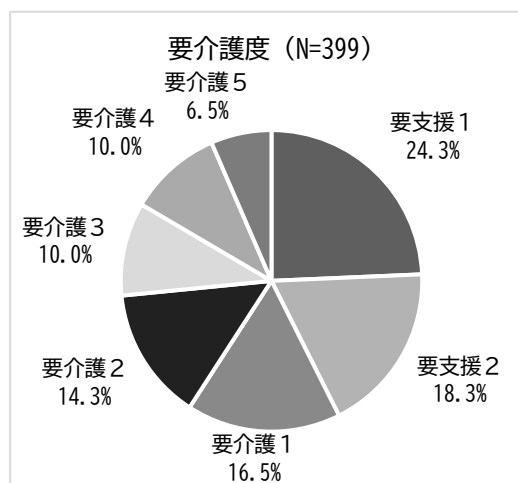
「要介護度別」に見ると、「要支援」は「調査対象者本人」が76.5%、「主な介護者となっている家族・親族」が17.1%となっていますが、「要介護 1～2」は「調査対象者本人」が32.5%、「主な介護者となっている家族・親族」が49.6%、「要介護 3～5」は「調査対象者本人」が15.1%、「主な介護者となっている家族・親族」が59.4%と、要介護になるほど、家族の回答が増える傾向が見られます。



回答者の要介護度

「回答者の要介護度」は「要支援1」が24.3%、「要支援2」が18.3%、「要介護1」が16.5%、「要介護2」が14.3%、「要介護3」が10.0%、「要介護4」が10.0%、「要介護5」が6.5%となっています。

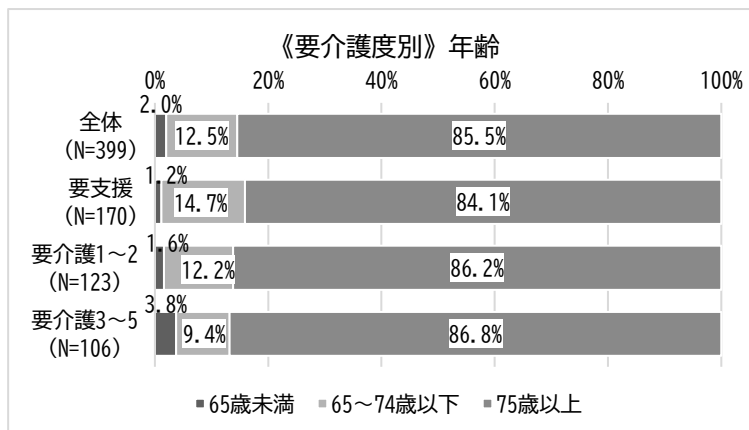
要介護度別の集計は「要支援」「要介護 1～2」「要介護 3～5」の区分で行います。



回答者の年齢

「回答者の年齢」を見ると、「75歳以上」が85.5%を占めており、「65～74歳以下」が12.5%、「65歳未満」が2.0%となっています。

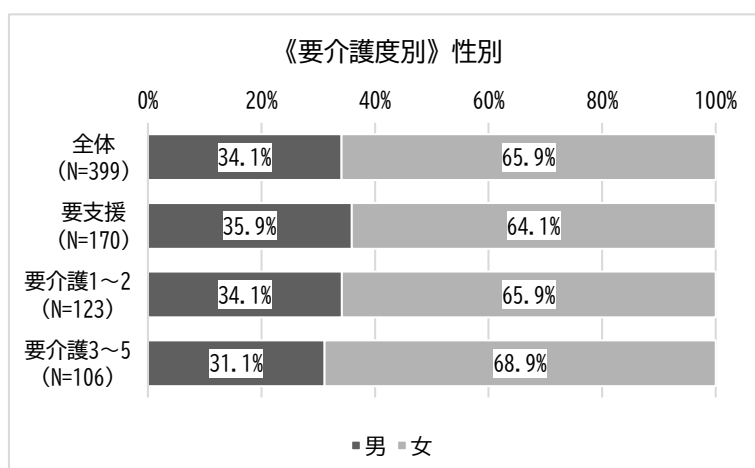
要介護度別に見ても、大きな変化は見られません。



回答者の性別

「回答者の性別」を見ると、「男」が34.1%に対し、「女」は65.9%と、「女」が31.8ポイント上回っています。

要介護度別に見ると、「要支援」は28.2ポイント、「要介護 1～2」は31.8ポイント、「要介護 3～5」は37.8ポイント、「女」が「男」を上回っており、介護度が重くなるほど、「女」が多くなる傾向が表れています。



A票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目

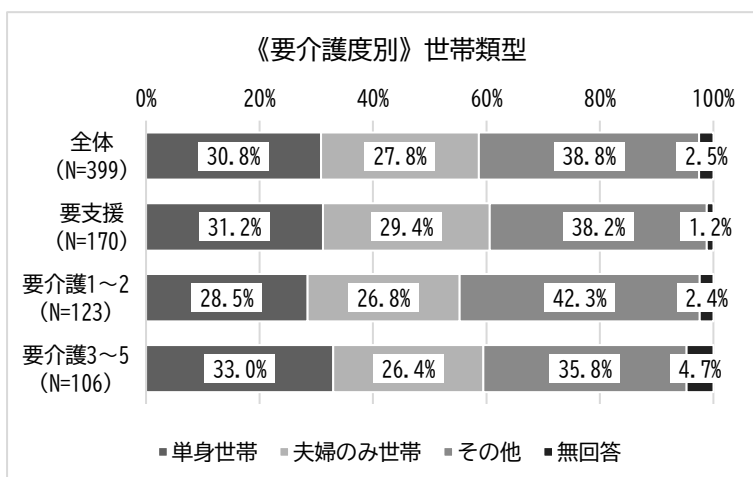
ポイント

- ✓ 単身世帯の増加傾向が見られ、「要介護3～5」に多い。
- ✓ 「家族介護あり」は減少傾向が見られるが、家族介護の頻度では「要介護3～5」の73.5%が「ほぼ毎日」となっている。
- ✓ 主な家族介護者は「子」がもっとも多く、次いで「配偶者」となっているが、「要介護3～5」では「配偶者」がもっとも多い。
- ✓ 主な介護者の63.4%が「女」となっている。
- ✓ 主な介護者の方の年齢は「60代」がもっとも多く、要介護度が重くなるほど、老々介護の傾向が強まっている。
- ✓ 介護者が行っている介護は金銭管理や手続き、家事援助、付き添い・送迎が多いが、特に「要介護3～5」では排泄、食事、入浴、身だしなみ、衣服の着脱などの身体介護が多くなっている。
- ✓ 介護離職した主な介護者は減少傾向にあるが、「要介護3～5」では10.2%と、要介護度が重くなるほど、多くなっている。
- ✓ 介護保険以外の支援・サービスの利用は増加傾向にあるが、半分近い47.6%が利用しておらず、要介護度別でも、ほとんど差が見られない。
- ✓ 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「外出同行 通院、買い物など」「移送サービス 介護・福祉タクシー等」「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「配食」が多い。
- ✓ 施設等への入所を検討している高齢者は増加傾向にあり、「要介護 3～5」ではすでに申し込みをしているも含め、「入所・入居を検討している」が58.5%となっている。
- ✓ 訪問診療の利用は増加傾向にあり、「要介護 3～5」では26.4%が利用している。
- ✓ 介護保険サービスの利用は49.4%で、利用していない理由は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」が多い。

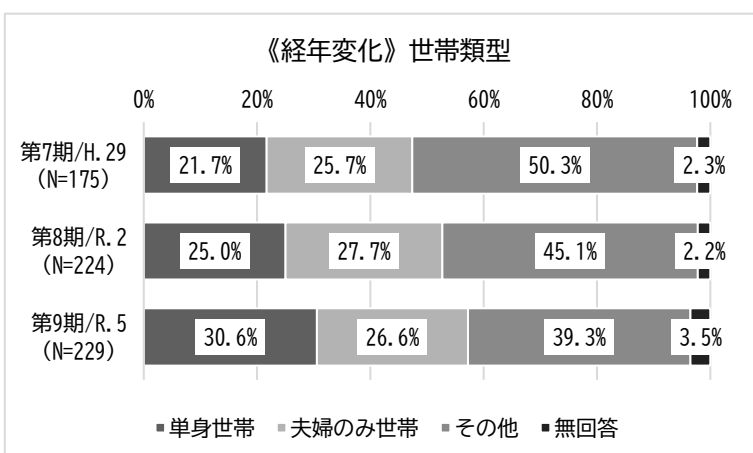
問1 世帯類型について、ご回答ください
(1つを選択)

「単身世帯」が30.8%、「夫婦のみ世帯」が27.8%、「その他」が38.8%となっています。

要介護度別に見ると「要介護 1～2」が他の区分に比べ、「単身世帯」が少なく、「その他」が多くなっています。



経年変化を見ると、「単身世帯」は「第7期」が21.7%、「第8期」が25.0%、「第9期」が30.6%と、増加の傾向が見られ、「夫婦のみ世帯」は「第7期」が25.7%、「第8期」が27.7%、「第9期」が26.6%と、ほぼ横ばい、「その他」は「第7期」が50.3%、「第8期」が45.1%、「第9期」が39.3%と、減少の傾向が見られます。



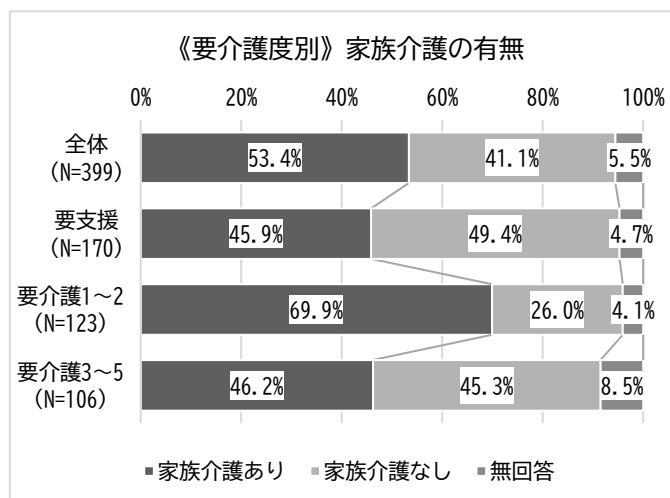
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか

(1つを選択)

「家族介護あり」は53.4%となっています。

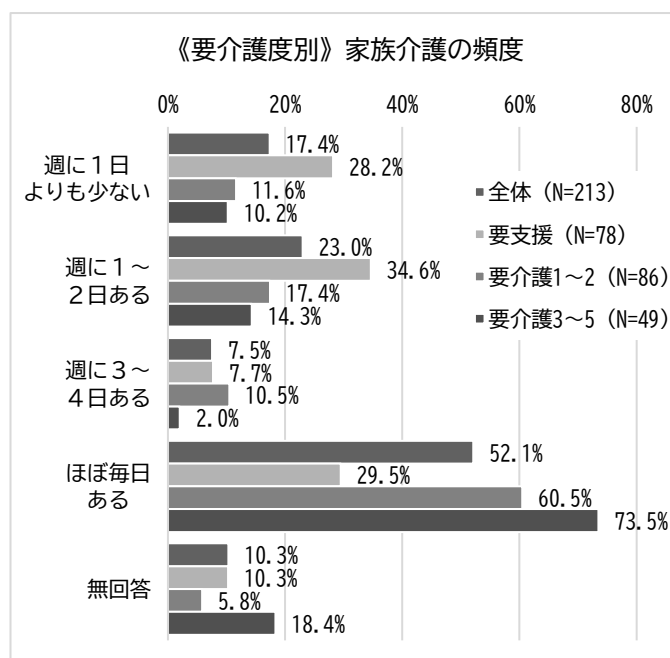
要介護度別に見ると、「家族介護あり」は「要支援」が45.9%、「要介護 1～2」が69.9%、「要介護 3～5」が46.2%となっています。

「家族介護あり」が「要介護 1～2」に比べ「要介護 3～5」が少ないのは、介護度が重くなるほど、介護保険サービスなどの利用度が高くなっているためとされます。

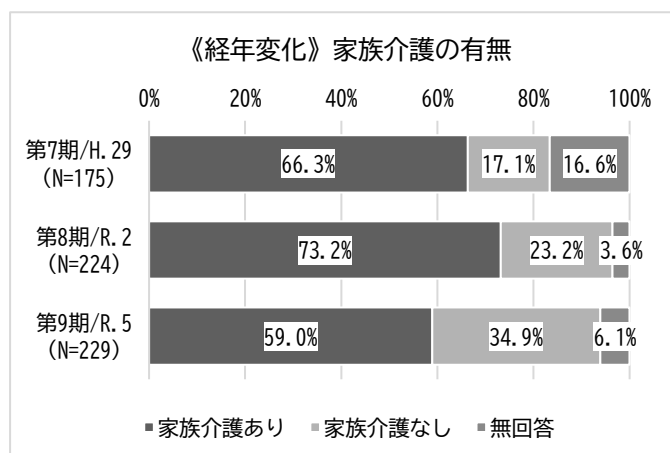


家族介護の頻度では「ほぼ毎日ある」が52.1%と最も多く、次いで「週に1～2日ある」が23.0%、「週に1日よりも少ない」が17.4%の順位となっています。

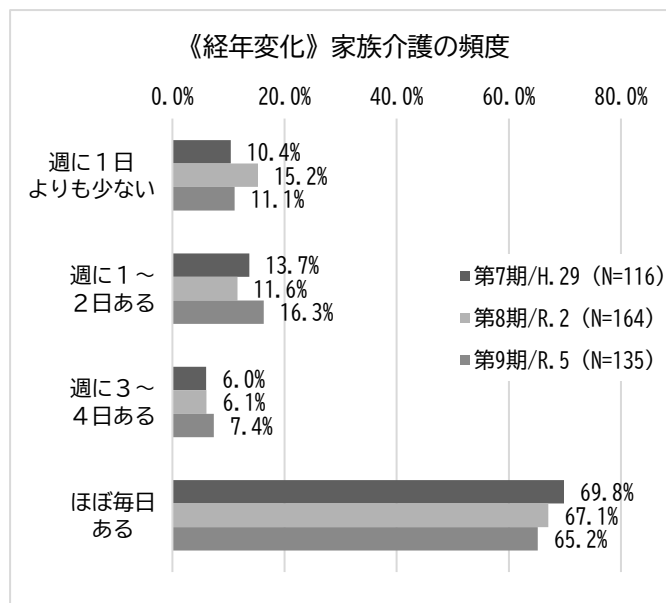
家族介護の頻度を要介護度別に見ると、「ほぼ毎日ある」は「要介護 3～5」が73.5%、「要介護 1～2」が60.5%、「要支援」が29.5%、「週に1日よりも少ない」は反対に「要支援」が28.2%、「要介護 1～2」が11.6%、「要介護 3～5」が10.2%の順になっています。



「家族介護あり」の経年変化を見ると、「第7期」が66.3%、「第8期」が73.2%に対し、「第9期」は59.0%と、「第8期」に比べ14.2ポイント減少しています。



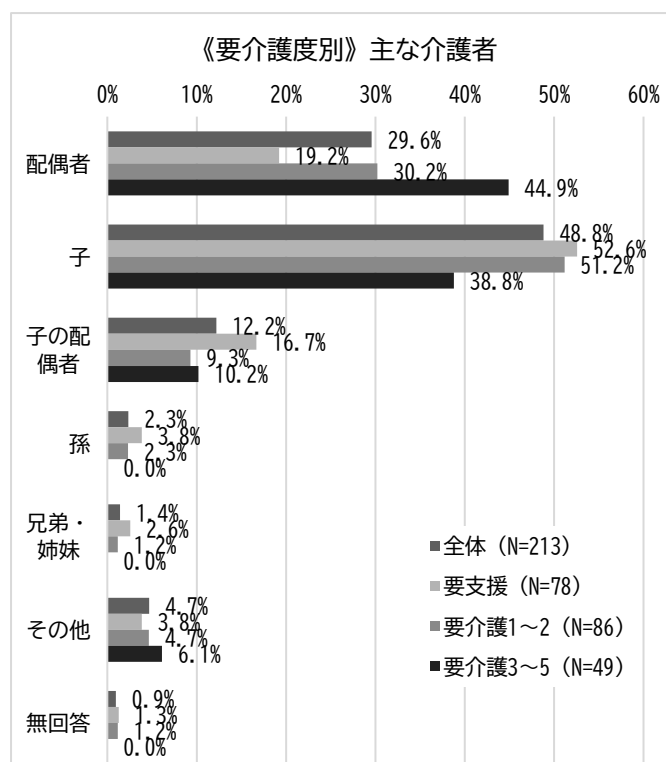
家族介護の頻度の経年変化を見ると、「ほぼ毎日ある」は「第7期」が69.8%、「第8期」が67.1%、「第9期」が65.2%と、漸減傾向が見られます。



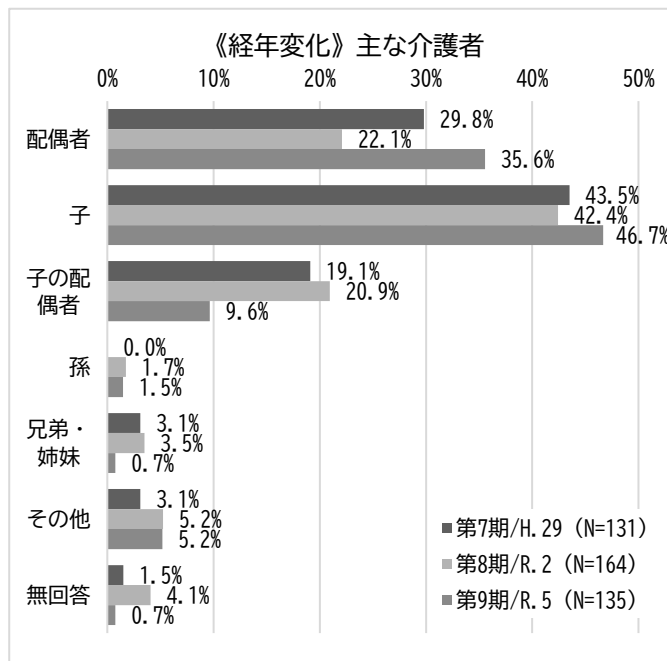
問3 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

「子」が48.8%と最も多く、「配偶者」が29.6%、「子の配偶者」が12.2%の順になっています。

主な介護者を見ると、「要支援」では「子」が52.6%と最も多く、「配偶者」が19.2%、「子の配偶者」が16.7%、「要介護 1～2」では「子」が51.2%と最も多く、「配偶者」が30.2%、「子の配偶者」が10.2%、「要介護 3～5」では「配偶者」が44.9%と最も多く、「子」が38.8%、「子の配偶者」が9.3%となっています。



経年変化を見ると、「第7期」は「子」が43.5%と最も多く、「配偶者」が29.8%、「子の配偶者」が19.1%、「第8期」は「子」が42.4%と最も多く、次いで「配偶者」が22.1%、「子の配偶者」が20.9%、「第9期」は「子」が46.7%と最も多く、次いで「配偶者」が35.6%、「子の配偶者」が9.6%の順になっています。

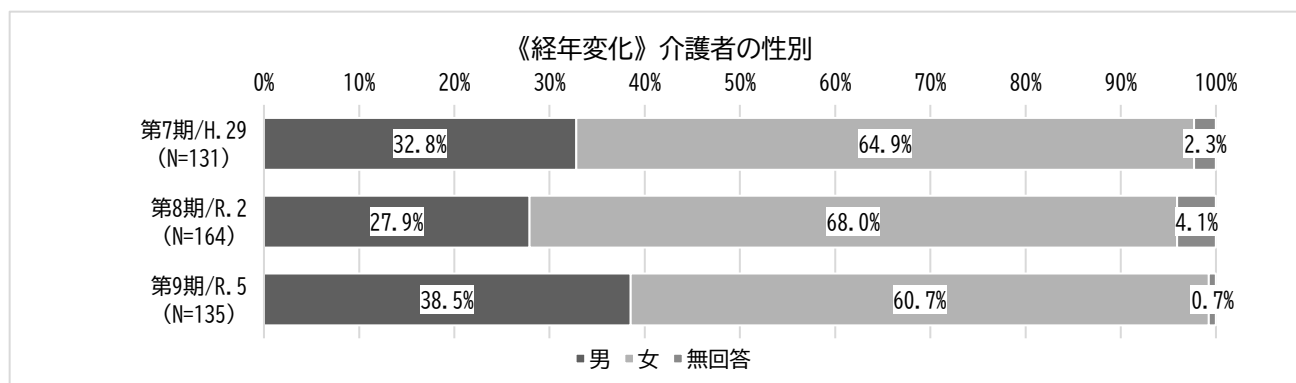
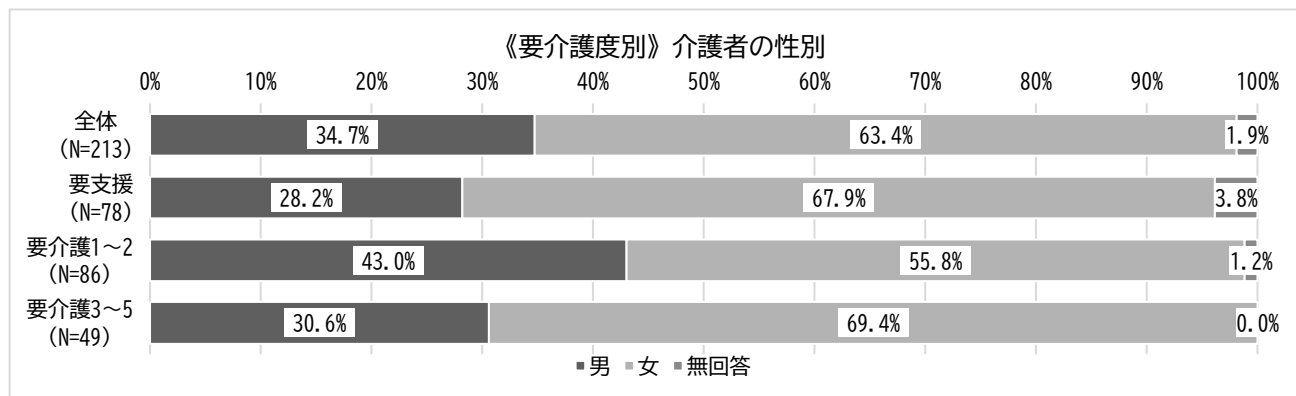


問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

「男」が34.7%に対し、「女」は63.4%と、「女」が28.7ポイント上回っています。

要介護度別に「女」を見ると、「要介護3～5」が69.4%と最も多く、「要支援」が67.9%、「要介護1～2」が55.8%の順になっています。

経年変化を見ると、「第7期」は「男」が32.8%、「女」が64.9%、「第8期」は「男」が27.9%、「女」が68.0%、「第9期」は「男」が38.5%、「女」が60.7%になっています。

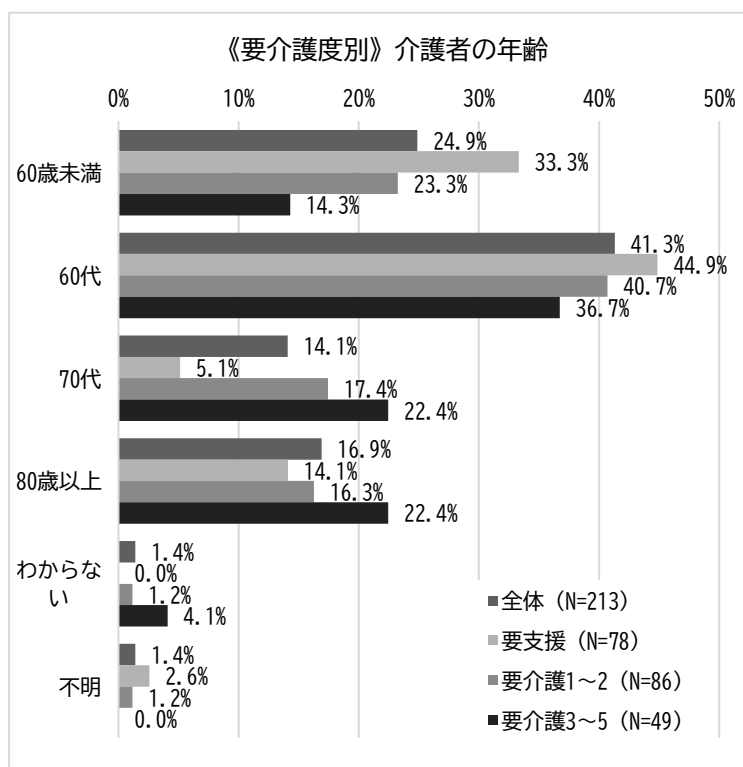


問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

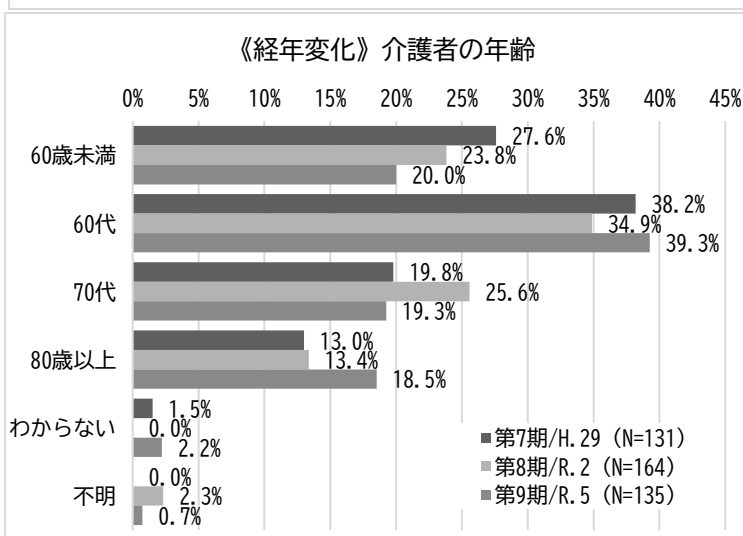
(1つを選択)

「60代」が41.3%と最も多く、「60歳未満」が24.9%、「80歳以上」が16.9%の順になっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「60代」が44.9%と最も多く、「60歳未満」が33.3%、「80歳以上」が14.1%、「要介護1～2」では「60代」が40.7%と最も多く、「60歳未満」が23.3%、「70代」が17.4%、「要介護3～5」では「60代」が36.7%と最も多く、「70代」「80歳以上」が共に22.4%の順になっており、介護度が重くなるほど、老老介護の傾向が強まる結果となっています。



経年変化を見ると、「60歳未満」は「第7期」が27.6%、「第8期」が23.8%、「第9期」が20.0%、「80歳以上」は「第7期」が13.0%、「第8期」が13.4%、「第9期」が18.5%となっているように、介護者の高齢化が進行していることが見受けられます。



問6 主な介護者の方が行っている現在の介護等について、ご回答ください

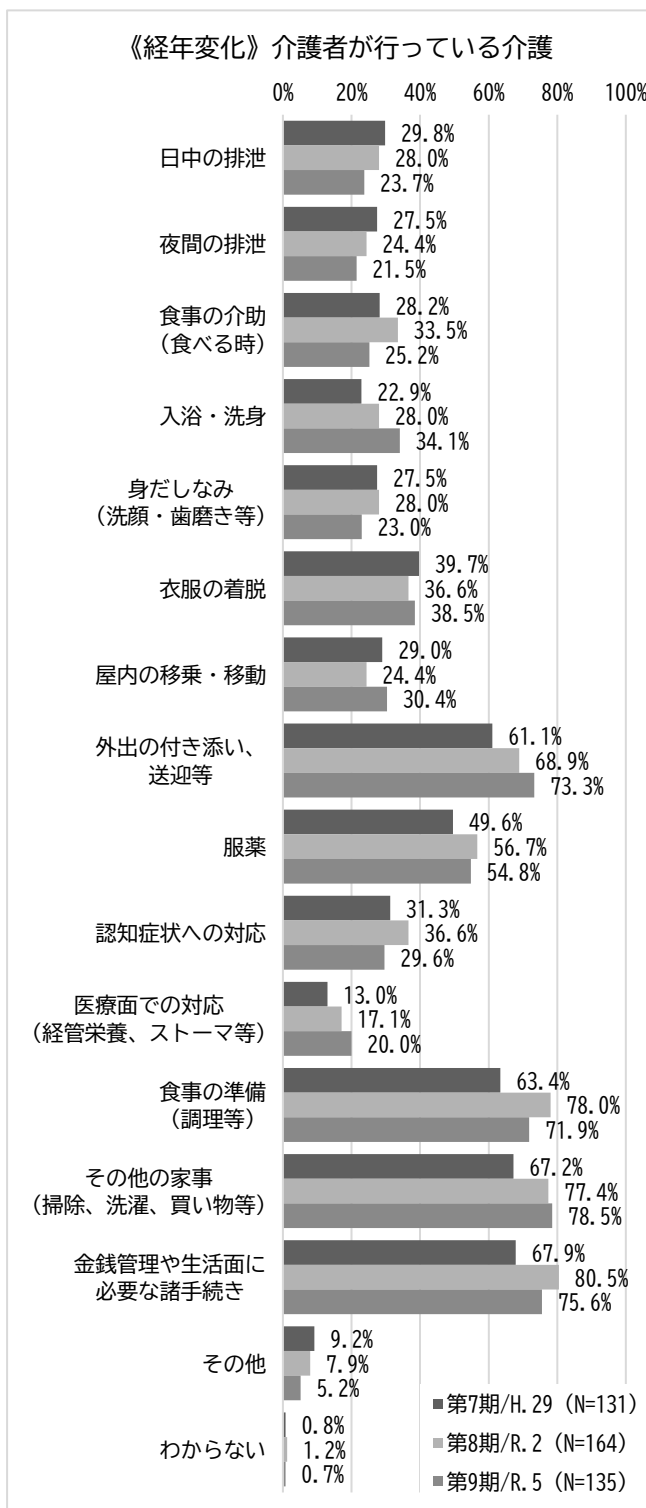
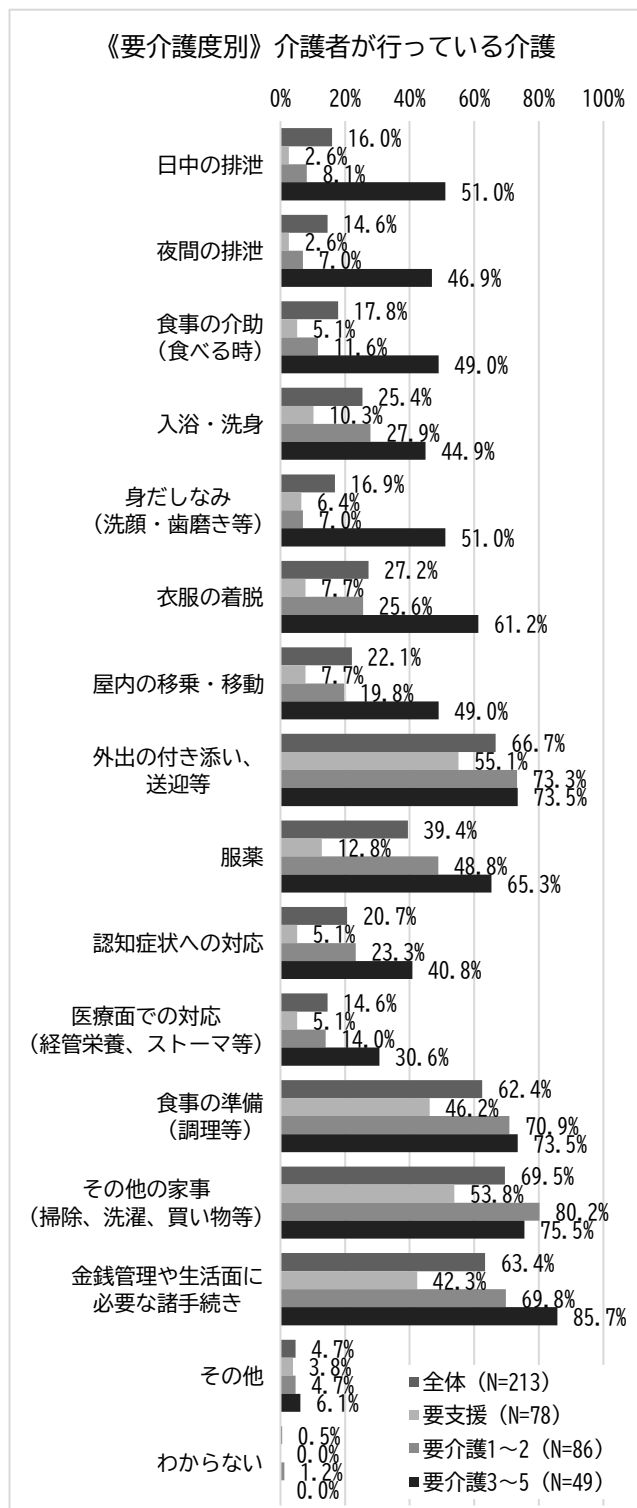
(いくつでも)

「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が69.5%と最も多く、「外出の付き添い、送迎等」が66.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が63.4%、「食事の準備(調理等)」が62.4%、「服薬」が39.4%の順になっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「外出の付き添い、送迎等」が55.1%と最も多く、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が53.8%、「食事の準備(調理等)」が46.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が42.3%、「要介護1～2」では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が80.2%と最も多く、「外出の付き添い、送迎等」が73.3%、「食事の準備(調理等)」が70.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が

69.8%、「服薬」が48.8%、「要介護3～5」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が85.7%と最も多く、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が75.5%、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」が共に73.5%、「服薬」が65.3%の順になっています。

経年変化を見ると、いずれも「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」が上位5位を占めています。

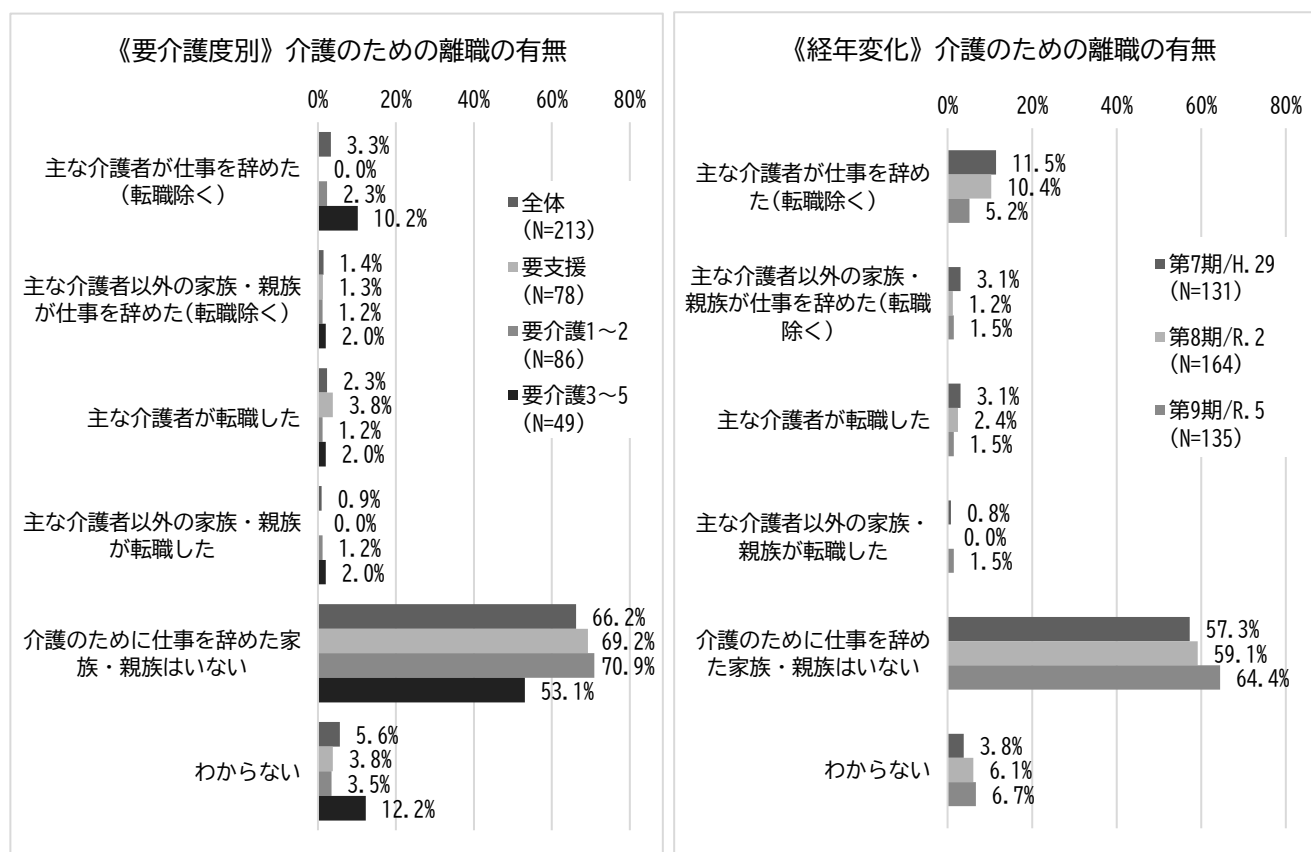


問7 ご家族や親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
(いくつでも)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.2%と最も多く、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が3.3%、「主な介護者が転職した」が2.3%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」が1.4%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が0.9%の順となっています。

要介護度別に見ても、ほぼ同様の傾向を示していますが、「要介護3～5」の「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が10.2%と、「要支援」「要介護1～2」と比べて、際立って多くなっています。

経年変化を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は「第7期」が11.5%、「第8期」が10.4%、「第9期」が5.2%と、介護離職が漸減傾向にあると思われます。

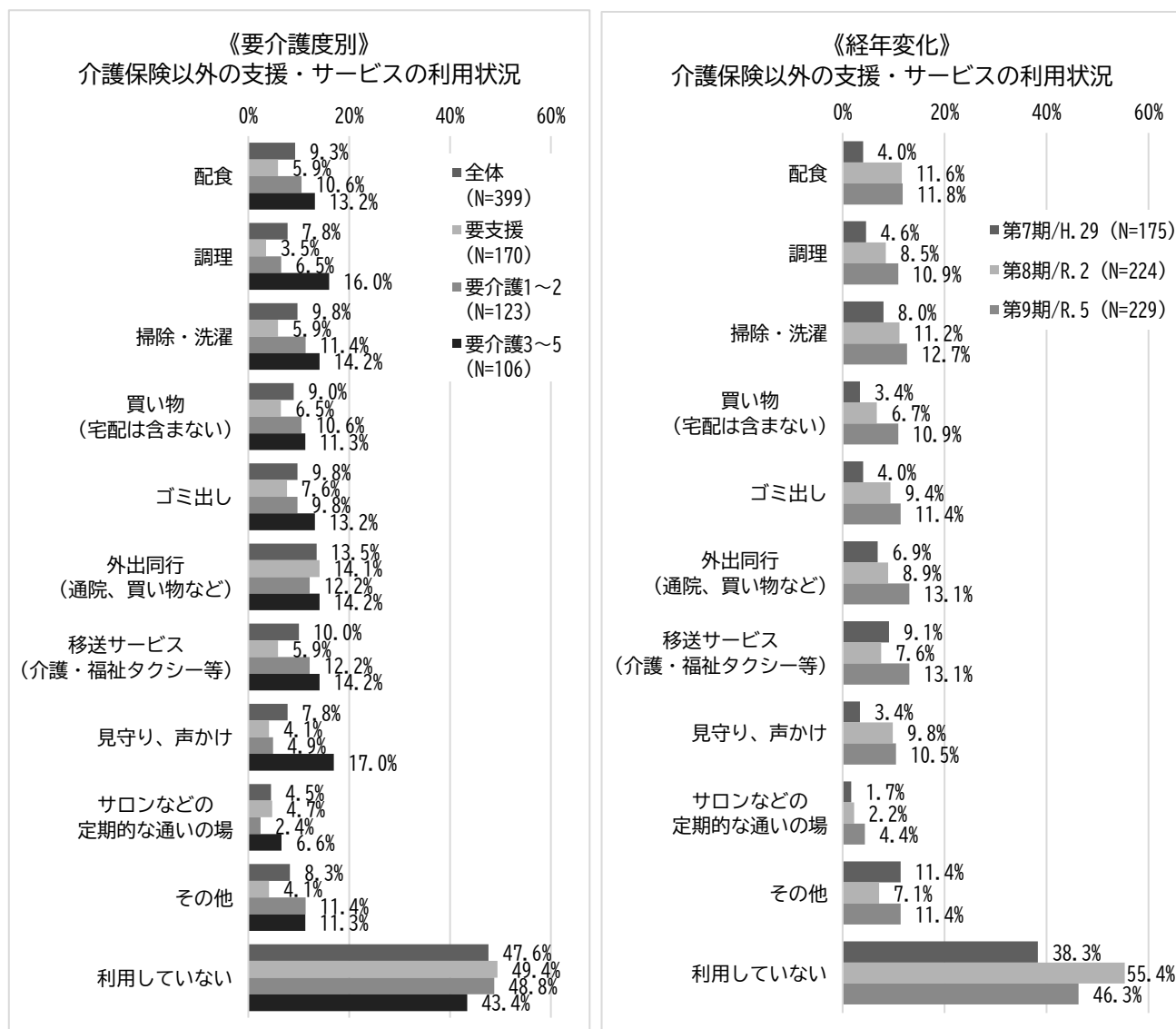


問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(いくつでも)

47.6%が「利用していない」と回答していますが、利用している支援・サービスの多い順に並べると、「外出同行(通院、買い物など)」が13.5%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が10.0%、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」が共に9.8%、「配食」が9.3%となっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「外出同行(通院、買い物など)」が14.1%、「ゴミ出し」が7.6%、「買い物(宅配は含まない)」が6.5%と多く、「要介護1～2」では「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が共に12.2%、「掃除・洗濯」が11.4%、「買い物(宅配は含まない)」「配食」が共に10.6%と多く、「要介護3～5」では「見守り、声かけ」が17.0%、「調理」が16.0%、「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「掃除・洗濯」が共に14.2%と多くなっています。

経年変化を見ると、「利用していない」は「第7期」が38.3%、「第8期」が55.4%、「第9期」が46.3%となっており、「第7期」に比べ「第9期」の利用者は「配食」が7.8ポイント、「買い物(宅配は含まない)」が7.5ポイント、「ゴミ出し」が7.4ポイント、「見守り、声かけ」が7.1ポイント増えています。

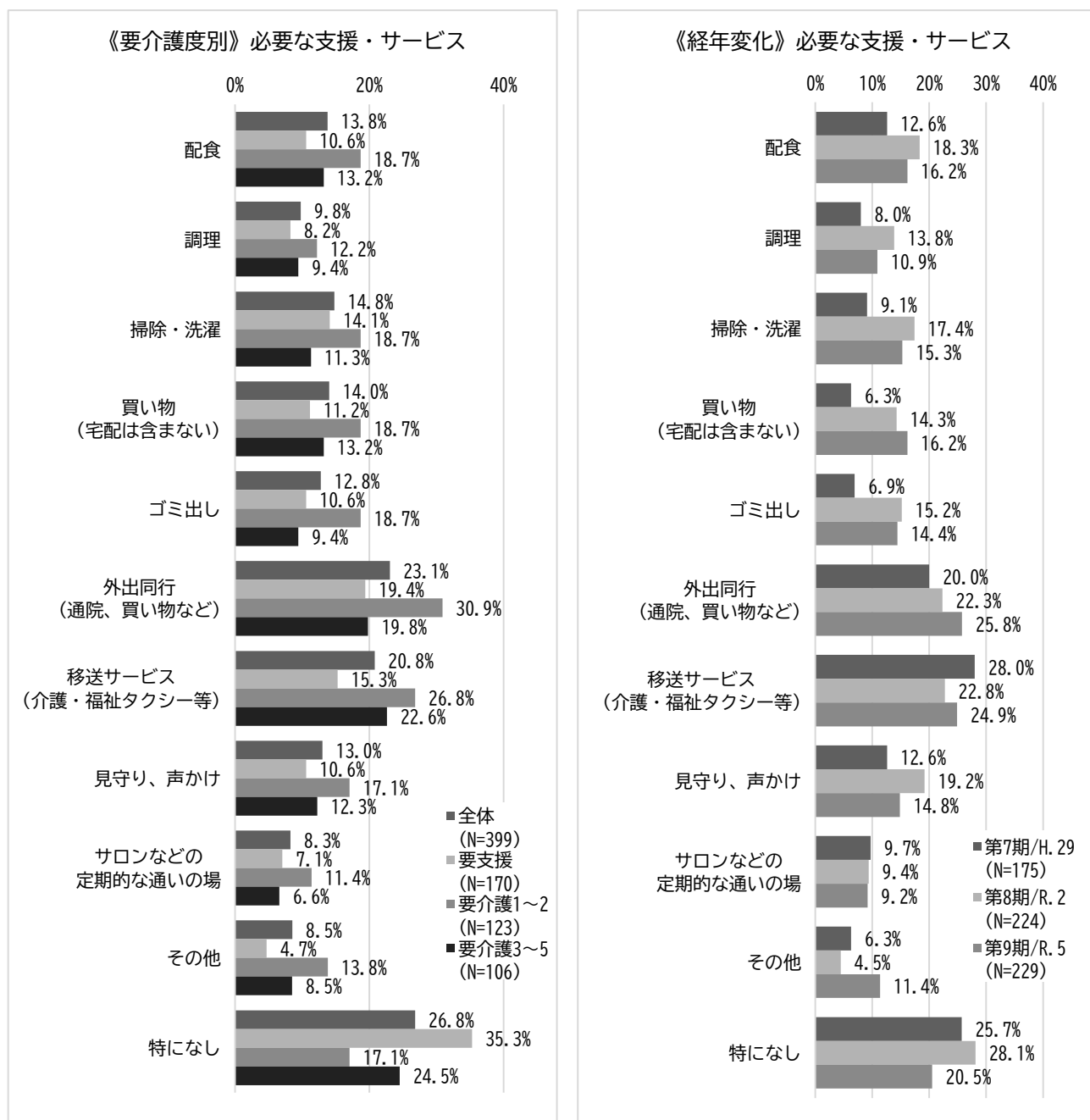


問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください (いくつでも)

「外出同行(通院、買い物など)」が23.1%と最も多く、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が20.8%、「掃除・洗濯」が14.8%、「買い物(宅配は含まない)」が14.0%、「配食」が13.8%の順となっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「外出同行(通院、買い物など)」が19.4%と最も多く、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が15.3%、「掃除・洗濯」が14.1%、「買い物(宅配は含まない)」が11.2%、「要介護1～2」では「外出同行(通院、買い物など)」が30.9%と最も多く、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が26.8%、「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「配食」「ゴミ出し」が共に18.7%、「要介護3～5」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が22.6%と最も多く、「外出同行(通院、買い物など)」が19.8%、「買い物(宅配は含まない)」「配食」が共に13.2%、「見守り、声かけ」が12.3%の順となっています。

経年変化を見ると、「第7期」に比べ「第9期」でニーズが高まったサービスは「買い物(宅配は含まない)」が9.9ポイント、「ゴミ出し」が7.5ポイント、「掃除・洗濯」が6.2ポイント、「外出同行(通院、買い物など)」が5.8ポイント、それぞれ増えています。



問10 現在、施設等への入所・入居を検討しているかについて、ご回答ください

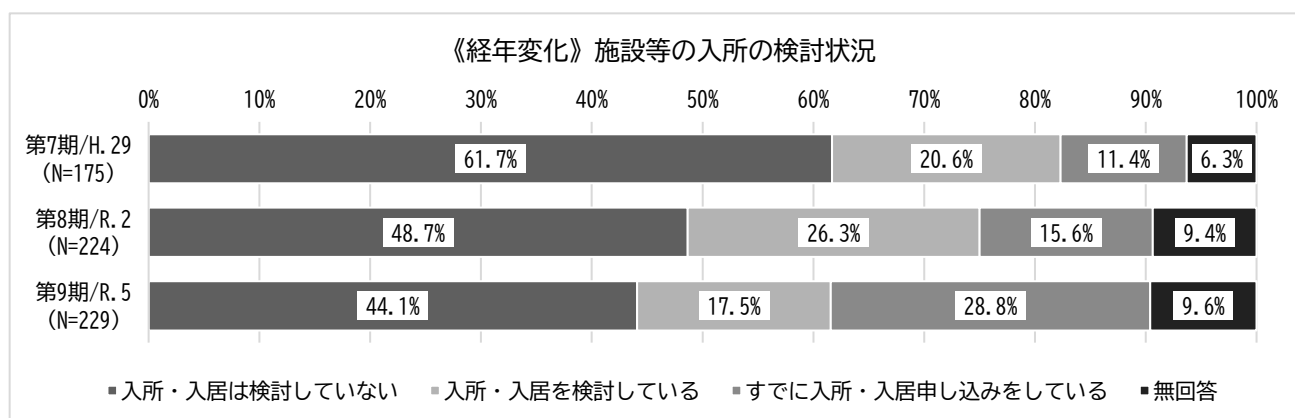
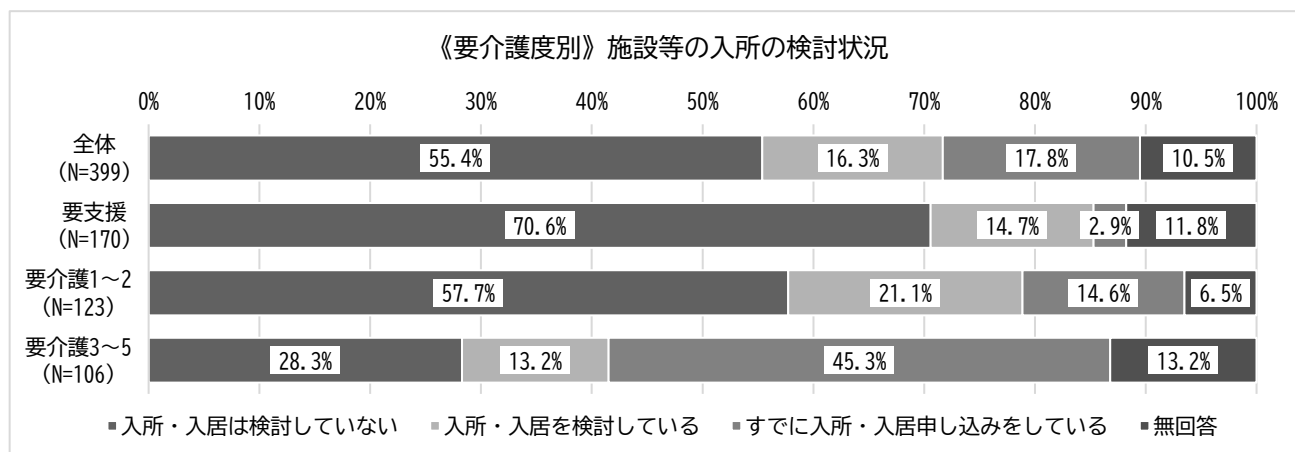
(1つを選択)

「入所・入居を検討している」が16.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が17.8%となっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「入所・入居を検討している」14.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.9%、「要介護1~2」では「入所・入居を検討している」が21.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.6%、「要介護3~5」では「入所・入居を検討している」が13.2%、「すでに入所・入居申し込みをし

ている」が45.3%となっています。

経年変化を見ると、「第7期」では「入所・入居を検討している」が20.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の11.4%と合わせると32.0%、「第8期」では「入所・入居を検討している」が26.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の15.6%と合わせると41.9%、「第9期」では「入所・入居を検討している」が17.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の28.8%と合わせると46.3%と、施設志向が高まっています。

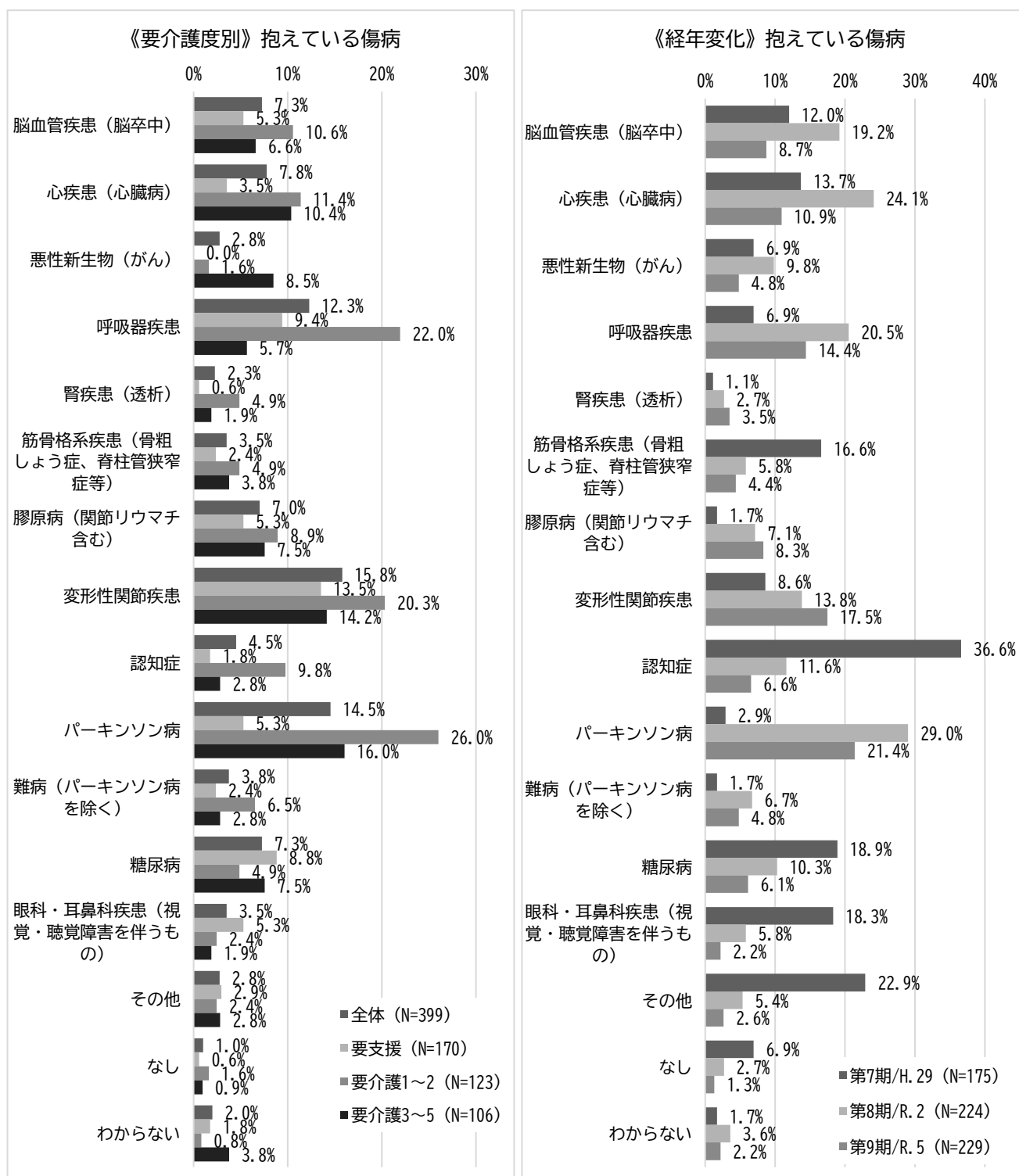


問11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください (いくつでも)

「変形性関節疾患」が15.8%と最も多く、「パーキンソン病」が14.5%「呼吸器疾患」が12.3%、「心疾患(心臓病)」が7.8%の順になっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「変形性関節疾患」が13.5%と最も多く、「呼吸器疾患」が9.4%、「糖尿病」が8.8%、「要介護1～2」では「パーキンソン病」が26.0%と最も多く、「呼吸器疾患」が22.0%、「変形性関節疾患」が20.3%、「心疾患(心臓病)」が11.4%、「要介護3～5」では「パーキンソン病」が16.0%と最も多く、「変形性関節疾患」が14.2%、「心疾患(心臓病)」が10.4%、「糖尿病」「悪性新生物(がん)」が共に8.5%の順になっています。

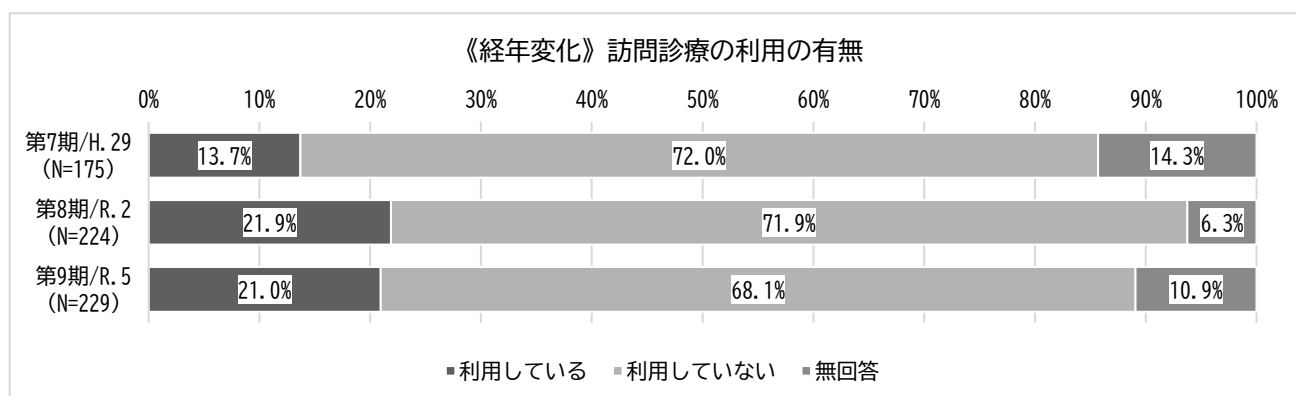
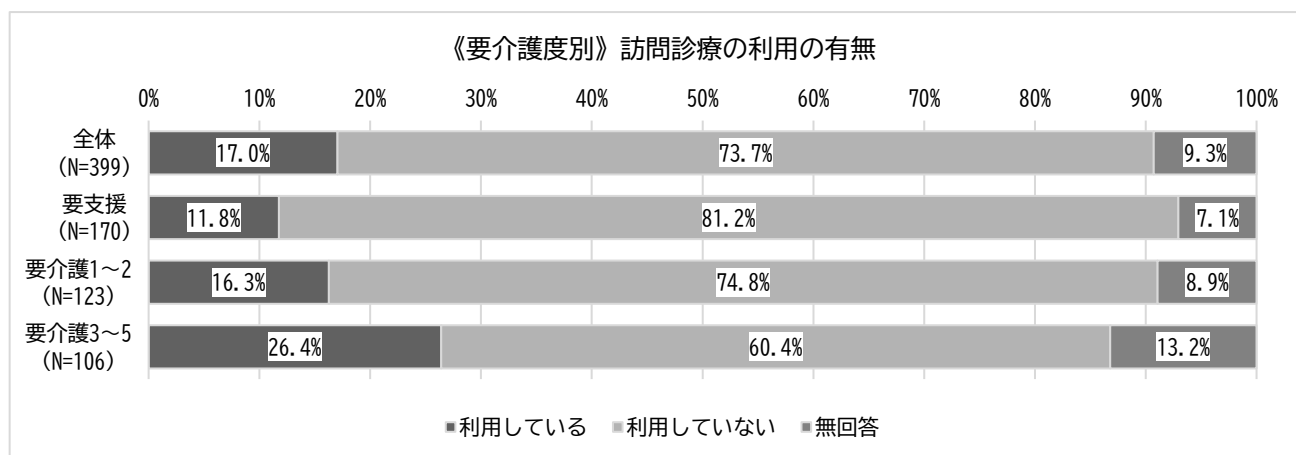
経年変化を見ると、「パーキンソン病」は18.5ポイント、「変形性関節疾患」は8.9ポイント、「呼吸器疾患」は7.5ポイント、「膠原病(関節リウマチ含む)」は6.6ポイント、「第7期」に比べ「第9期」は増え、「認知症」は30.0ポイント、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」は16.1%ポイント、「糖尿病」は12.8%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」は12.2ポイント、「第7期」に比べ「第9期」は減っています。



問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか

「利用している」と回答した高齢者は17.0%であり、要介護度別で見ると、「要支援」は11.8%、「要介護 1～2」は16.3%、「要介護 3～5」は26.4%となっています。

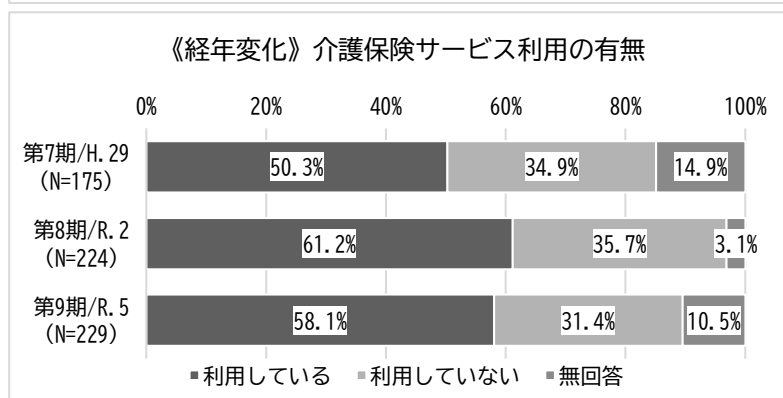
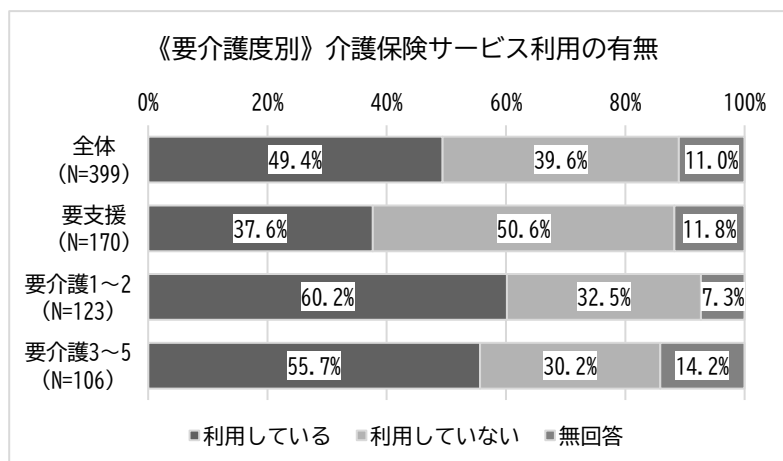
「利用している」と回答した高齢者は「第7期」は13.7%、「第8期」は21.9%、「第9期」は21.0%と、「第7期」に比べ、7.3ポイント増えています。



問13 現在、介護保険サービスを利用していますか

49.4%が「利用している」と回答しており、要介護度別の利用者は「要支援」が37.6%、「要介護1~2」が60.2%、「要介護3~5」が55.7%となっています。

経年変化を見ると、「第7期」は50.3%、「第8期」は61.2%、「第9期」は58.1%となっています。



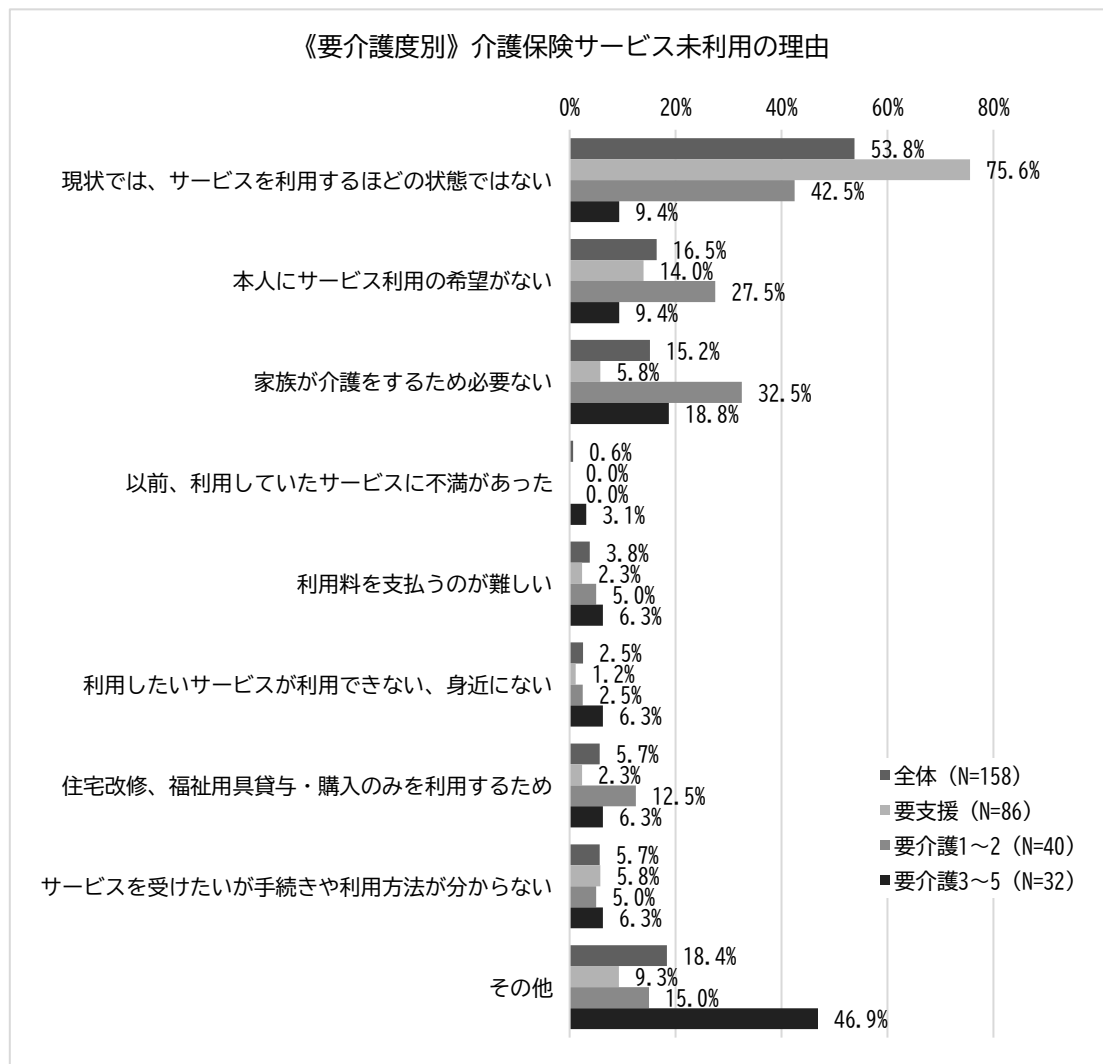
問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか

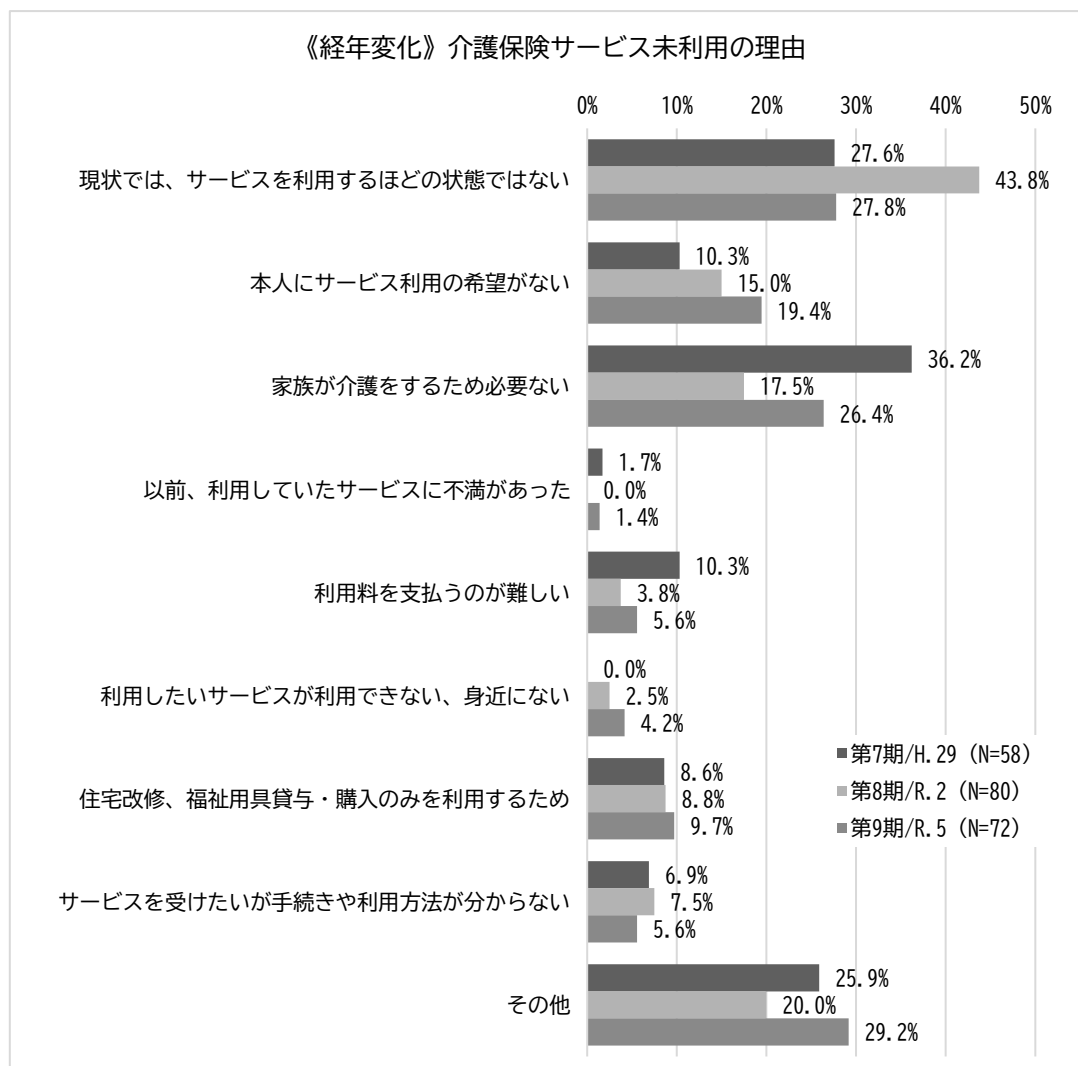
(いくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.8%と最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」が16.5%、「家族が介護をするため必要ない」が15.2%の順になっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が75.6%と最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」が14.0%、「家族が介護をするため必要ない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が共に5.8%、「要介護 1～2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が42.5%と最も多く、「家族が介護をするため必要ない」が32.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が27.5%、「要介護 3～5」では「家族が介護をするため必要ない」が18.8%と最も多く、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」が共に9.4%の順になっています。

経年変化を見ると、「本人にサービス利用の希望がない」は9.1ポイント、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」は 4.2 ポイント、「第7期」に比べ「第9期」が増え、「家族が介護をするため必要ない」は9.8ポイント、「利用料を支払うのが難しい」は4.7ポイント、「第7期」に比べ「第9期」が減っています。





考察

- ✓ 能勢町の在宅介護の実態は要介護度が重くなるにしたがって、「老々介護」が増加する傾向が見られ、施設志向が強いものと思われます。
- ✓ 介護離職は大きな問題とはなっていないと考えられます。
- ✓ 施設志向から在宅思考にシフトしていくためには、介護保険サービスや介護保険以外のサービスや支援を効果的に活用することによって、家族の介護負担を軽減し、無理なく在宅生活を維持できるような環境整備を行っていくことが肝要です。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

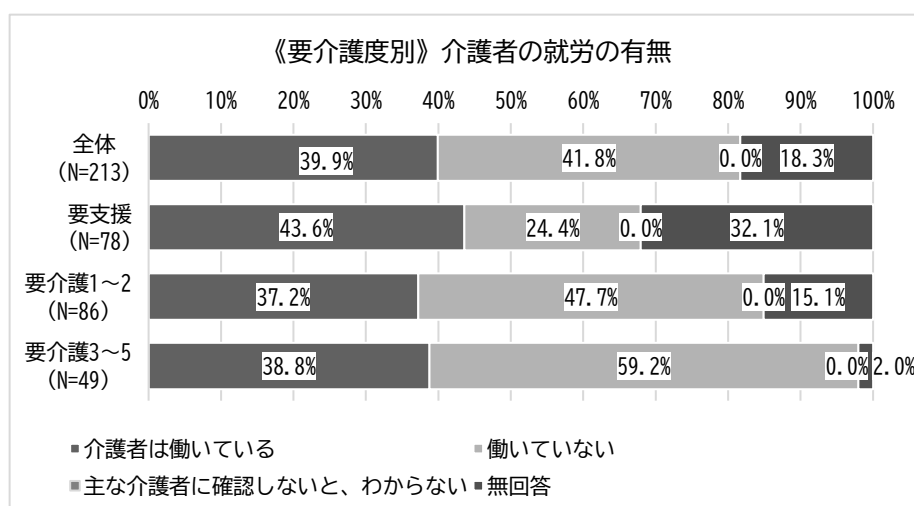
ポイント

- ✓ 働いている主な介護者は39.9%で、その内、フルタイムは56.5%となっている。
- ✓ 介護者の働き方の調整では「労働時間を調整しながら、働いている」「休暇を取りながら、働いている」が多く、49.4%が「特に行っていない」と回答している。
- ✓ 効果的な勤め先からの支援は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」が多い。
- ✓ 介護者の就労継続については「問題はあるが、何とか続けていける」の69.4%を含めて81.2%が「続けていける」と回答している。
- ✓ 介護者が不安に感じる介護は「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「入浴・洗身」「食事の準備(調理等)」「夜間の排泄」が多い。

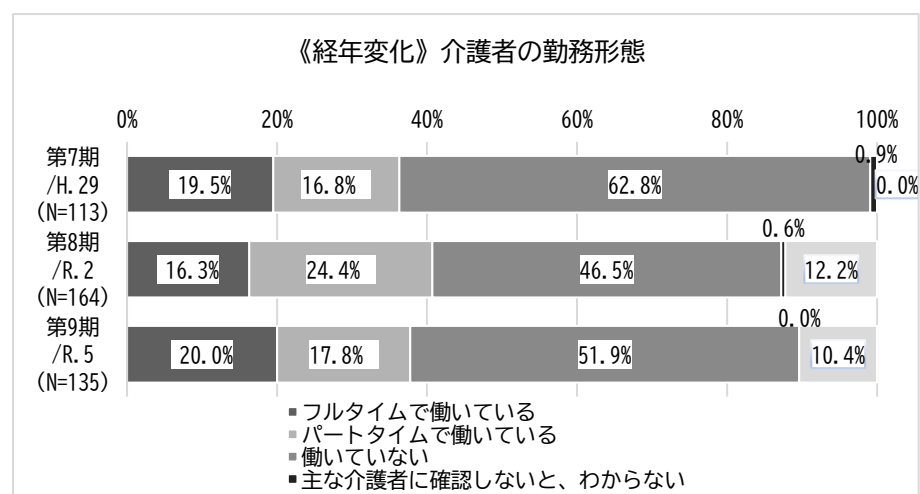
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

(1つを選択)

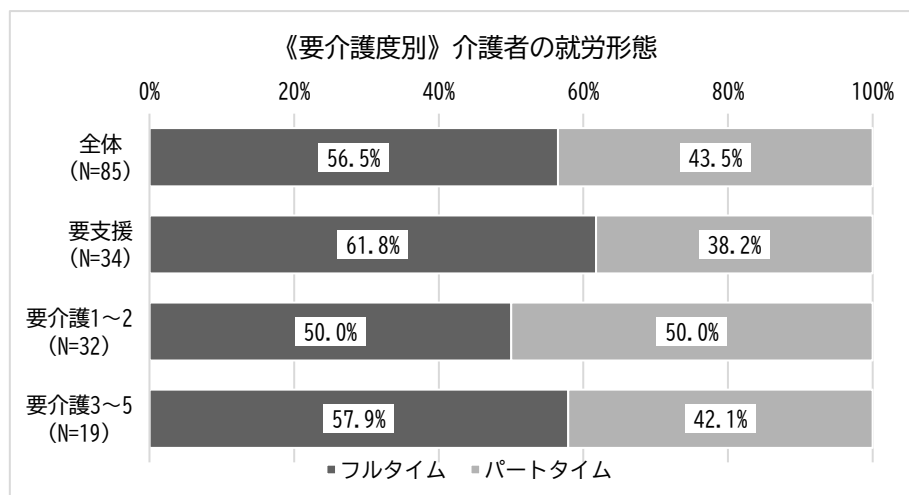
39.9%が働いていると回答しています。要介護度別に見ると、介護者が働いているのは「要支援」が43.6%、「要介護1～2」が37.2%、「要介護3～5」が38.8%となっています。



働いている者のうち、「フルタイム」は56.5%、「パートタイム」が43.5%となっています。要介護度別で見ると、「フルタイム」は「要支援」が61.8%、「要介護1～2」が50.0%、「要介護3～5」が57.9%となっています。



介護者の勤務形態の経年変化を見ると、「第7期」では「フルタイム」の19.5%、「パートタイム」の16.8%を合わせると36.3%、「第8期」では「フルタイム」の16.3%、「パートタイム」の24.4%を合わせると40.7%、「第9期」では「フルタイム」の20.0%、「パートタイム」の17.8%を合わせると37.8%となっています。



問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(いくつでも)

「特に行っていない」が49.4%と最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」が25.9%、「休暇を取りながら、働いている」が16.5%の順となっています。

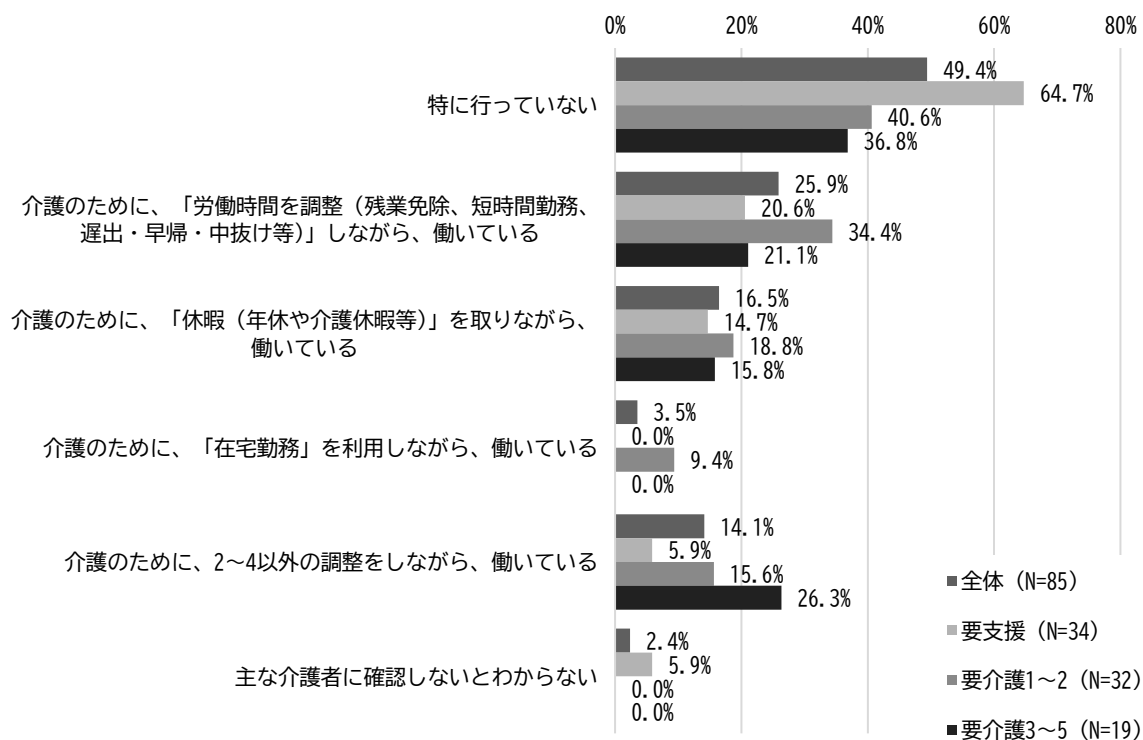
要介護度別に見ると、「要支援」では「特に行っていない」が64.7%と最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」が20.6%、「休暇を取りながら、働いている」が14.7%、「要介護 1～2」では「特に行っていない」が40.6%と最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」が34.4%、「休暇を取りながら、働いている」が18.8%、「要介護 3～5」では「特に行っていない」が36.8%と最も多く、「2～4 以外の調整をしながら、働いている」が26.3%、「労働時間を調整しながら、働いている」が21.1%の順となっています。

経年変化を見ると、「第7期」では「労働時間を調整しながら、働いている」が35.0%と最も多く、「特に行っていない」が27.5%、「休暇を取りながら、働いている」が25.0%、「第8期」では「特に行っていない」が40.0%と最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」が35.7%、「休暇を取りながら、働いている」が20.0%、「第9期」では「特に行っていない」が39.2%と最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」が29.4%、「2～4以外の調整をしながら、働いている」が19.6%の順となっています。

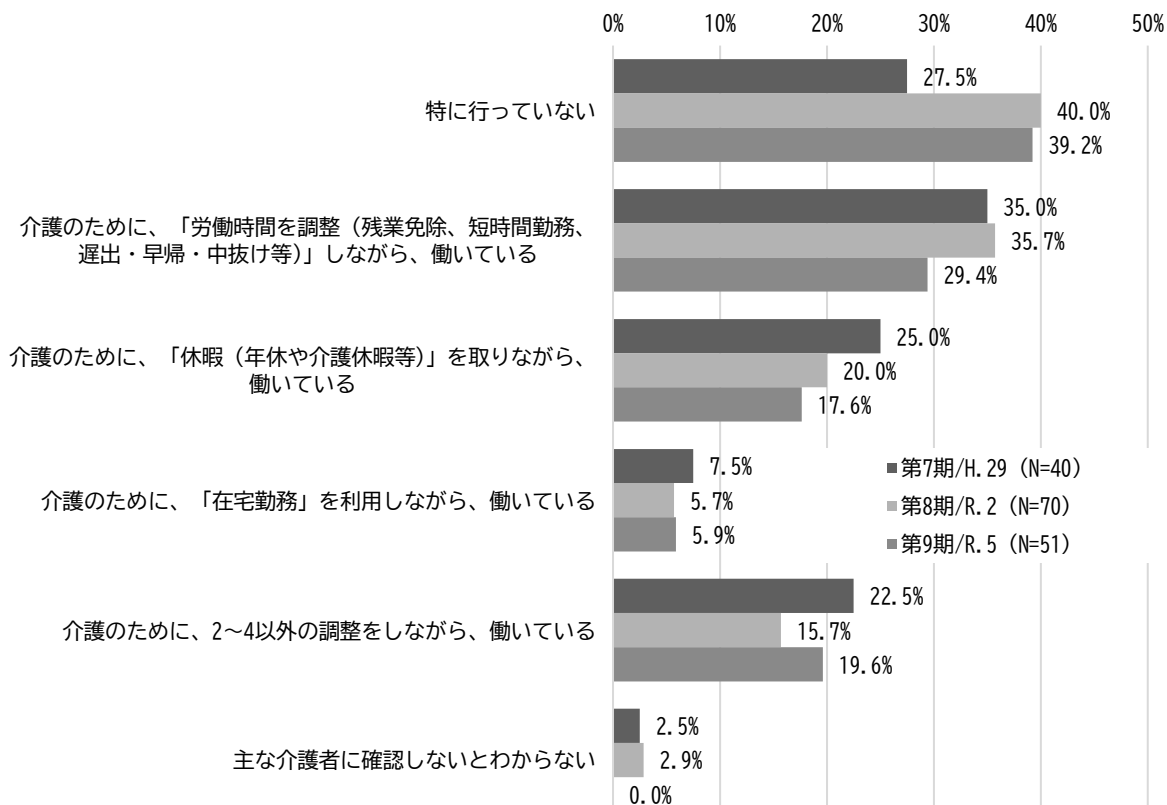
考察

- ✓ 能勢町では介護離職は深刻な問題になっていないと思われませんが、仕事をしている介護者のうち69.4%が介護と仕事の両立を「問題はあるが、何とか続けていける」と回答しており、介護者が「問題」と感じることを解決していきながら、介護と仕事が無理なく両立できる環境正整備が必要です。
- ✓ そのためには、介護と仕事の両立が可能な労働環境を整備すると共に、介護保険サービスの利用促進や保険外サービスの充実など、家族介護者の介護負担を軽減していく取組が必要です。

《要介護度別》介護者の働き方の調整



《経年変化》介護者の働き方の調整



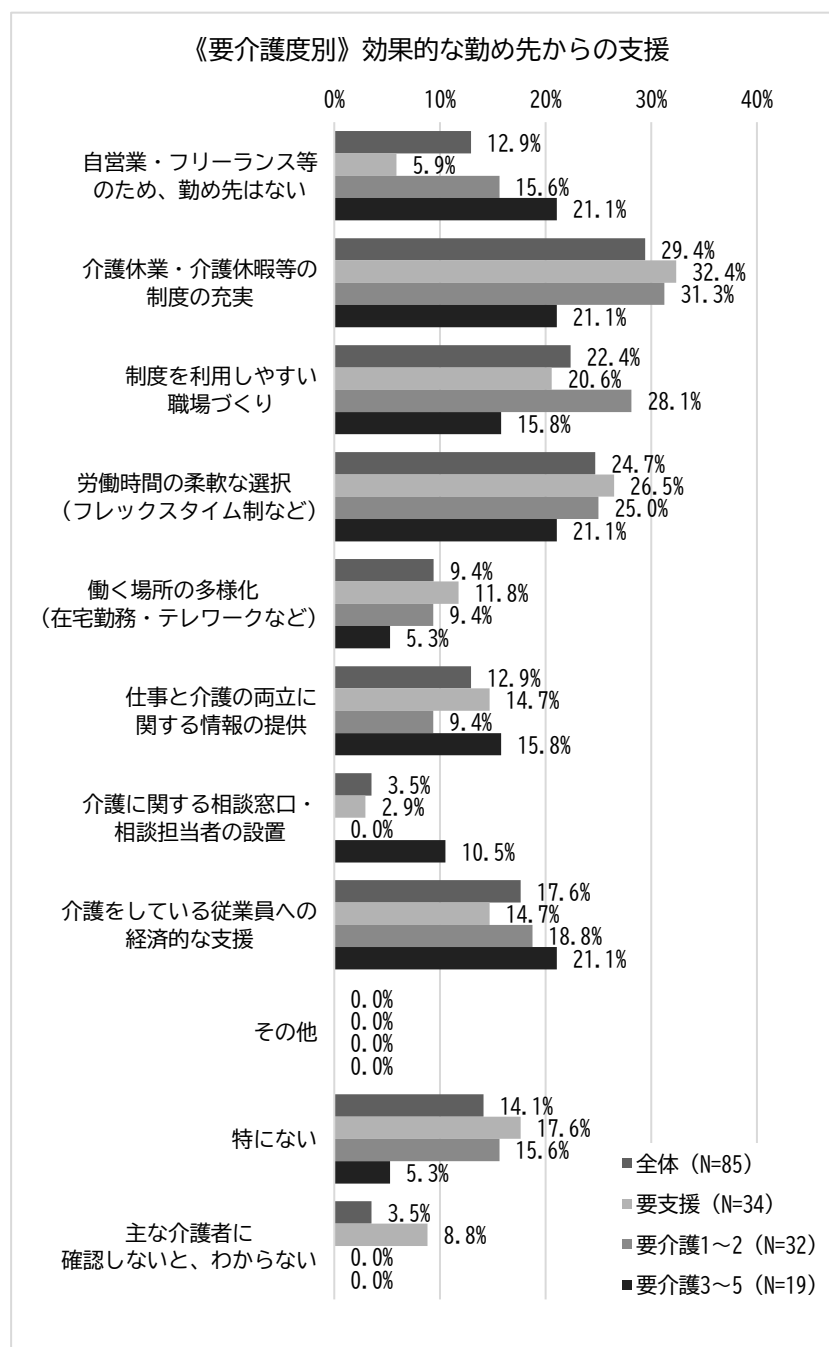
問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか

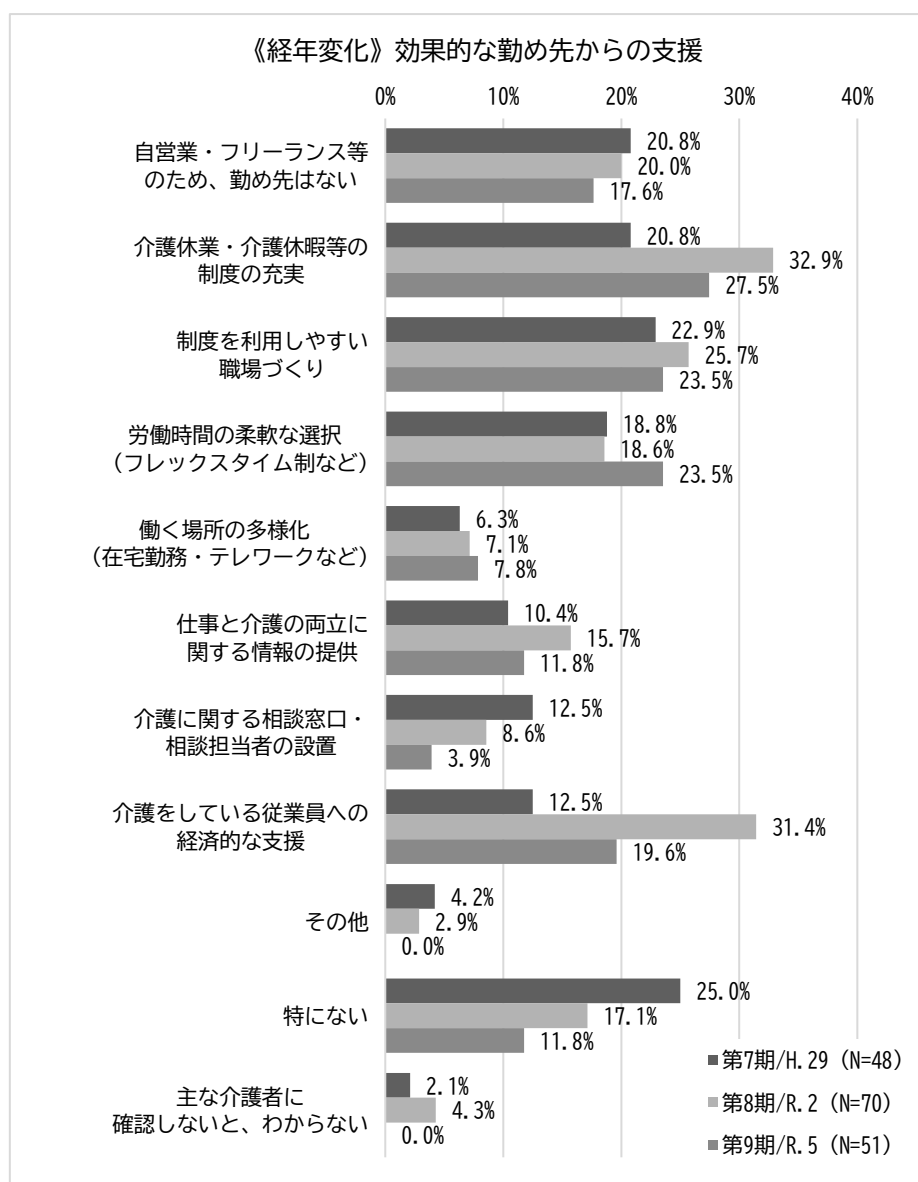
(3つまで選択可)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.4%と最も多く、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が24.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.4%の順となっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.4%と最も多く、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が26.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」が20.6%、「特にない」が17.6%、「要介護1～2」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.3%と最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」が28.1%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が25.0%、「要介護3～5」では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が共に21.1%と多くなっています。

経年変化を見ると、「第7期」では「特にない」が25.0%と最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.9%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が共に20.8%、「第8期」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.9%と最も多く、「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.7%、「第9期」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.5%と最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が共に23.5%の順になっています。





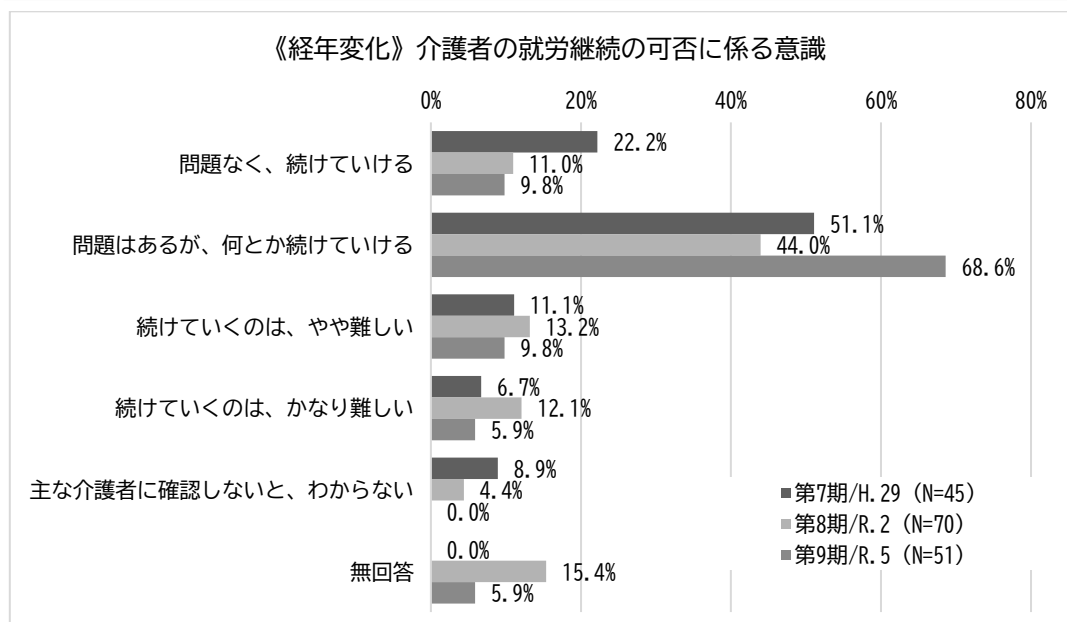
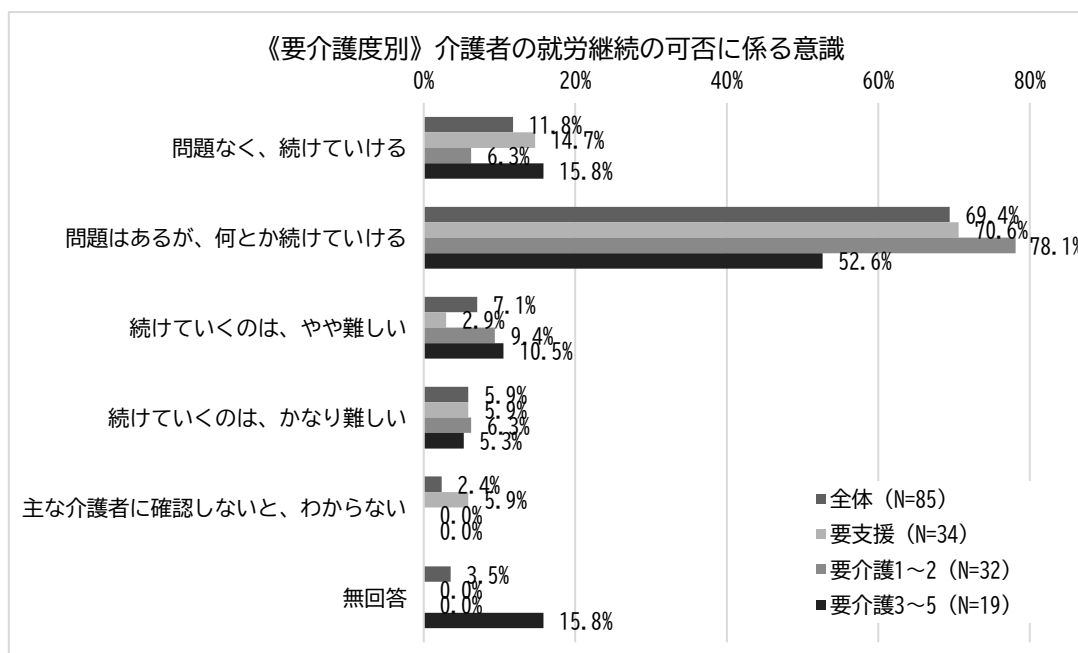
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

（1つを選択）

「問題なく、続けていける」11.8%、「問題はあるが、何とか続けていける」69.4%を合わせると 81.2%となっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「問題なく、続けていける」14.7%、「問題はあるが、何とか続けていける」70.6%を合わせると 85.3%、「要介護 1～2」では「問題なく、続けていける」6.3%、「問題はあるが、何とか続けていける」78.1%を合わせると 84.4%、「要介護 3～5」では「問題なく、続けていける」15.8%、「問題はあるが、何とか続けていける」52.6%を合わせると 68.4%となっています。

経年変化をみると、「第7期」では「問題なく、続けていける」22.2%、「問題はあるが、何とか続けていける」51.1%を合わせると 73.3%、「第8期」では「問題なく、続けていける」11.0%、「問題はあるが、何とか続けていける」44.0%を合わせると55.0%、「第9期」では「問題なく、続けていける」9.8%、「問題はあるが、何とか続けていける」68.6%を合わせると 78.4%となっています。



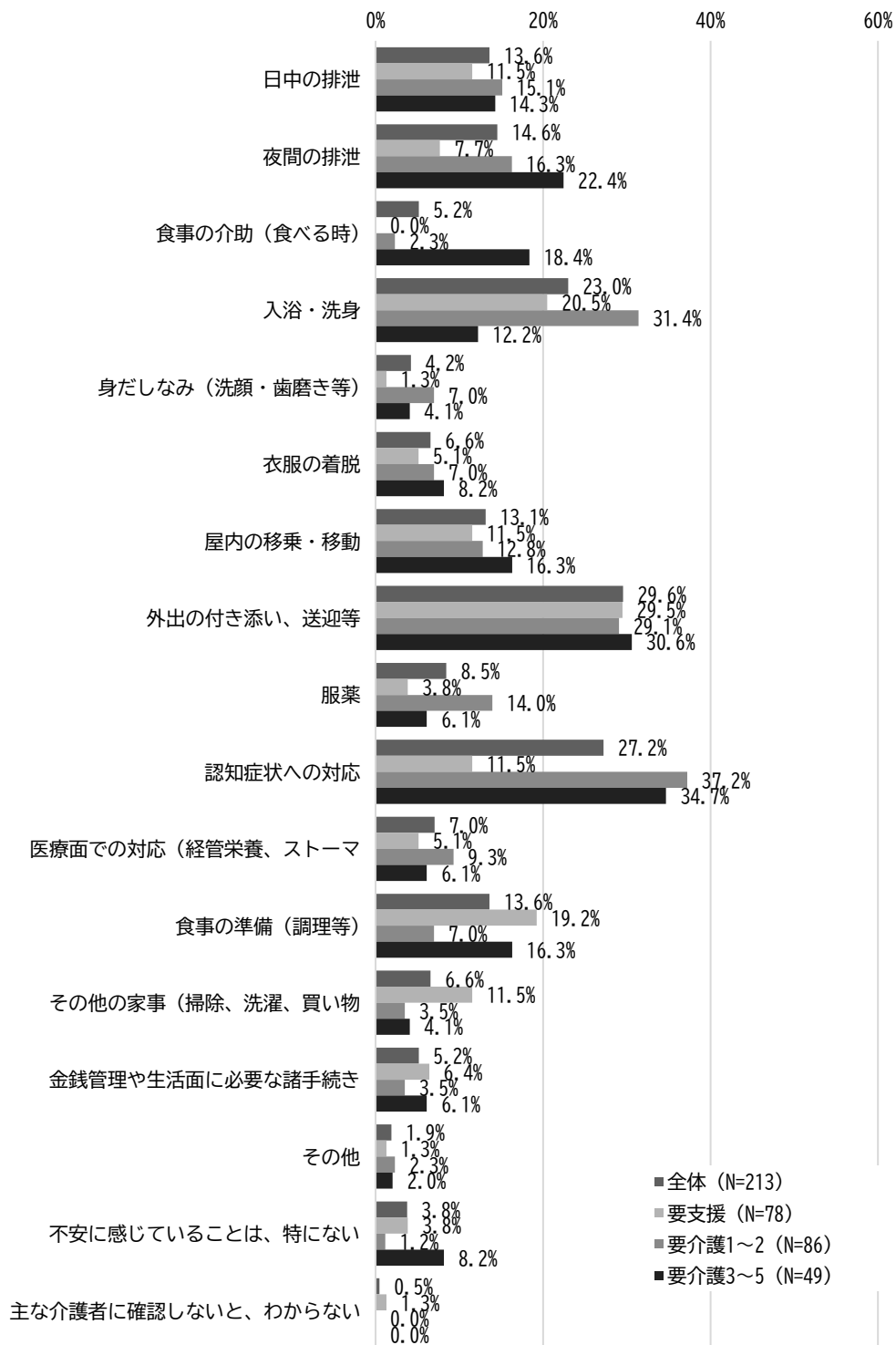
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください

(3つまで選択可)

「外出の付き添い、送迎等」が 29.6%と最も多く、「認知症状への対応」が 27.2%、「入浴・洗身」が23.0%、「夜間の排泄」が 14.6%の順になっています。

要介護度別に見ると、「要支援」では「外出の付き添い、送迎等」が29.5%と最も多く、「入浴・洗身」が20.5%、「食事の準備(調理等)」が19.2%、「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物)」が共に11.5%、「要介護1～2」では「認知症状への対応」が37.2%と最も多く、「入浴・洗身」が31.4%、「外出の付き添い、送迎等」が29.1%、「夜間の排泄」が16.3%、「要介護3～5」では「認知症状への対応」が34.7%と最も多く、「外出の付き添い、送迎等」が30.6%、「夜間の排泄」が22.4%、「食事の介助(食べる時)」が18.4%の順になっています。

《要介護度別》介護者が不安に感じる介護



経年変化を見ると、「第7期」に比べ「第9期」の変化が大きいものは、「認知症状への対応」は 7.6 ポイント、「外出の付き添い、送迎等」は6.1ポイント、「服薬」は 3.3%ポイント増え、「日中の排泄」は16.5ポイント、「夜間の排泄」は11.1ポイント減っています。

